これからの食料生産とわたしたち ① きほん

1 食料自給率について答えましょう。

1つ5点（15点）　きほん

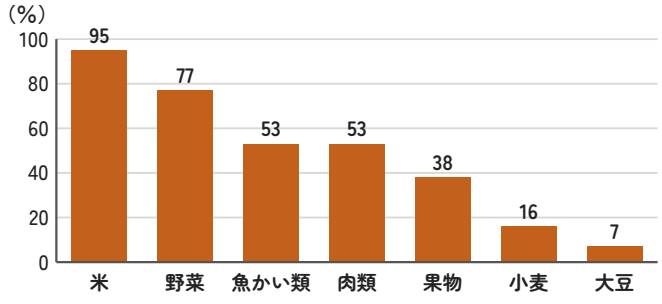
(1) 国内で食べる食料のうち、国内で生産している割合（わりあい）を何といいますか。

(2) 日本の食料自給率（カロリーベース）はおよそ何%？　ア 約17%　イ 約37%　ウ 約57%　エ 約97%

(3) 自給率が低いのは、多くの食料を何にたよっているからですか。

2 グラフは、おもな食料の自給率です。

1つ6点（30点）　よく出る



資料：農林水産省「食料需給表」（2025年度・概算）

(1) 自給率がいちばん高い食料は？

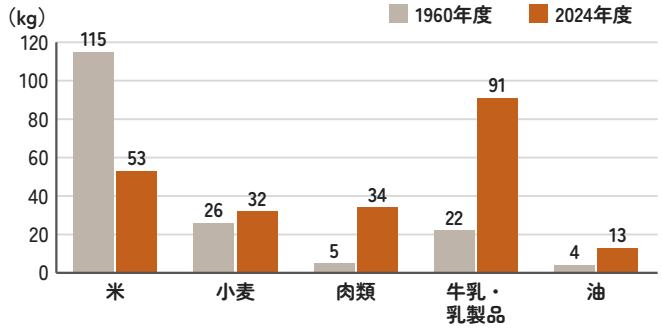
(2) 自給率が20%より低い食料を2つ。

(3) 小麦からつくる食品は？　ア パン　イ とうふ　ウ みそ

(4) 大豆からつくる食品は？　ア うどん　イ とうふ　ウ もち

3 グラフは、1人が1年間に食べる量の変化です。

(1)(2)5点 (3)10点（20点）　よく出る



資料：農林水産省「食料需給表」 1人1年あたり

(1) 1960年度より大きく減ったものは？

(2) 増えたものを2つ。　ア 米　イ 肉類　ウ 牛乳・乳製品

(3) 食生活の変化と、自給率が下がったことの関係を書きましょう。

4 説明にあうことばを選びましょう。

1つ5点（20点）　きほん

語群　ア 地産地消　イ トレーサビリティ　ウ 食品ロス　エ 輸入

(1) 地元でとれた物を、地元で食べること。

(2) いつ・どこで・だれが育てたかを調べられるしくみ。

(3) まだ食べられるのに、すてられてしまう食品。

(4) 外国から品物を買い入れること。

5 正しいものに○、まちがっているものに×を書きましょう。

1つ5点（15点）　きほん

(1) 輸入すると、季節に関係なくいろいろな食料が手に入る。

(2) 輸入した食料は、運ぶきょりが短いので必ず新鮮だ。

(3) 外国で不作や争いがあると、輸入できなくなるおそれがある。

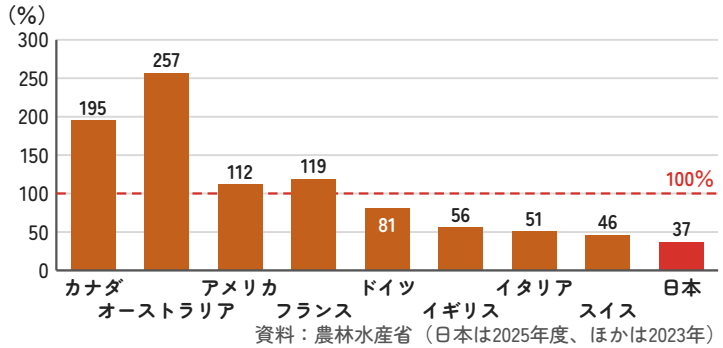
おわったら ○を つけよう　◯ できた！　◯ もういちど！

これからの食料生産とわたしたち ② 活用

月　日 名前

1 グラフは、いろいろな国の食料自給率です。

(1)〜(3)5点 (4)10点（25点）　よく出る



資料：農林水産省（日本は2025年度、ほかは2023年）

(1) 日本は9か国中、何番目に高い？

(2) 100%をこえる国はいくつ？

(3) オーストラリアは日本の約何倍？

(4) 日本の自給率が低い理由を、「農地」「輸入」ということばを使って書きましょう。

2 資料を読んで答えましょう。

(1)(2)5点 (3)10点（20点）　きほん

日本は、パンやめんに使う小麦の多くを輸入しています。2025年は、**カナダ・アメリカ・オーストラリアの3か国から、輸入する小麦の99.8%**を買っています。　資料：農林水産省「食料・農業・農村白書」

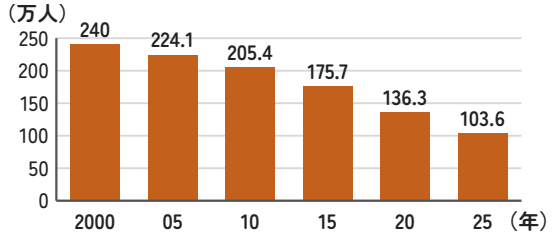
(1) 3か国のうち、北アメリカ大陸にある国を2つ書きましょう。

(2) 3か国以外からの小麦の輸入はほとんどない。○か×か。

(3) 輸入先が少ない国にかたよると、どんな心配がありますか。

3 グラフは、農業を中心に働く人（基幹的農業従事者）の数です。

(1)(2)(4)5点 (3)10点（25点）　きほん



資料：農林水産省「農林業センサス」

(1) 2025年は2000年とくらべて？　ア 半分以下　イ ほぼ同じ

(2) 2025年、65才以上は69.6%。約何割？

(3) このまま続くと、どんなことが心配ですか。

(4) 解決のくふうは？　ア 機械を使い少ない人数で作業　イ 田畑を減らす

4 これからの食料生産のために

1つ10点（30点）　★チャレンジ

(1) 地産地消のよい点を2つ書きましょう。

(2) 右の資料を見て、食品ロスを減らすために家でできることを書きましょう。

日本の食品ロス（2023年度）

1年間で 約464万トン

1人1日 約102g
＝おにぎり約1こ分

資料：農林水産省・環境省

(3) 日本の食料自給率を上げるために、わたしたちにできることを、この単元の資料の数字を1つ使って書きましょう。

おわったら ○を つけよう　◯ できた！　◯ もういちど！